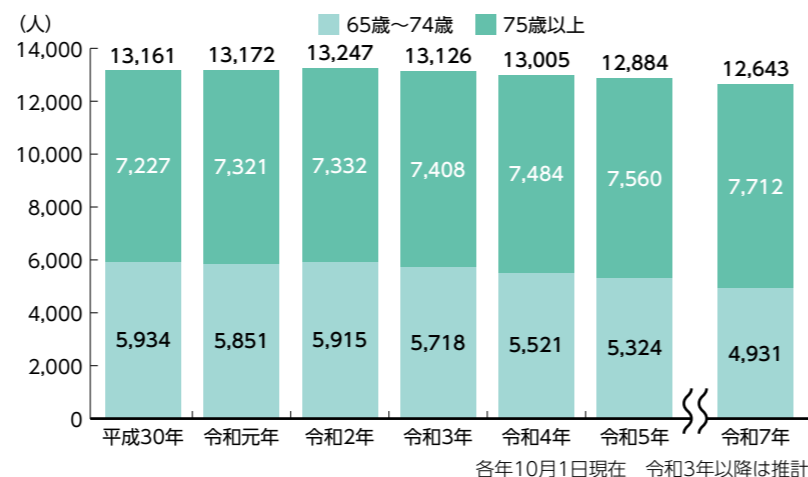


西脇市の現状と推移

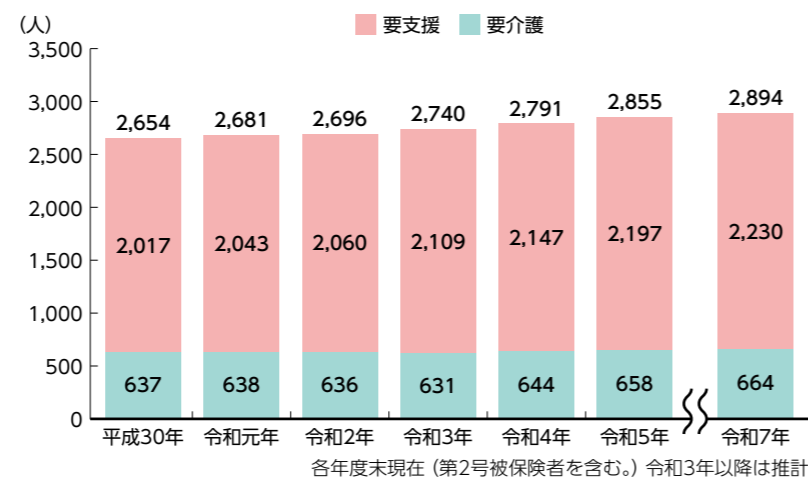
65歳以上の人口の推計

西脇市の人口は減少を続けている一方で、65歳以上の人口は年々増加し、令和2年10月1日現在の高齢化率は33.1%となっています。今後、65歳以上の人口は減少の見込みですが、要介護認定率の高い75歳以上の後期高齢者人口は、さらに増加の見込みとなっています。



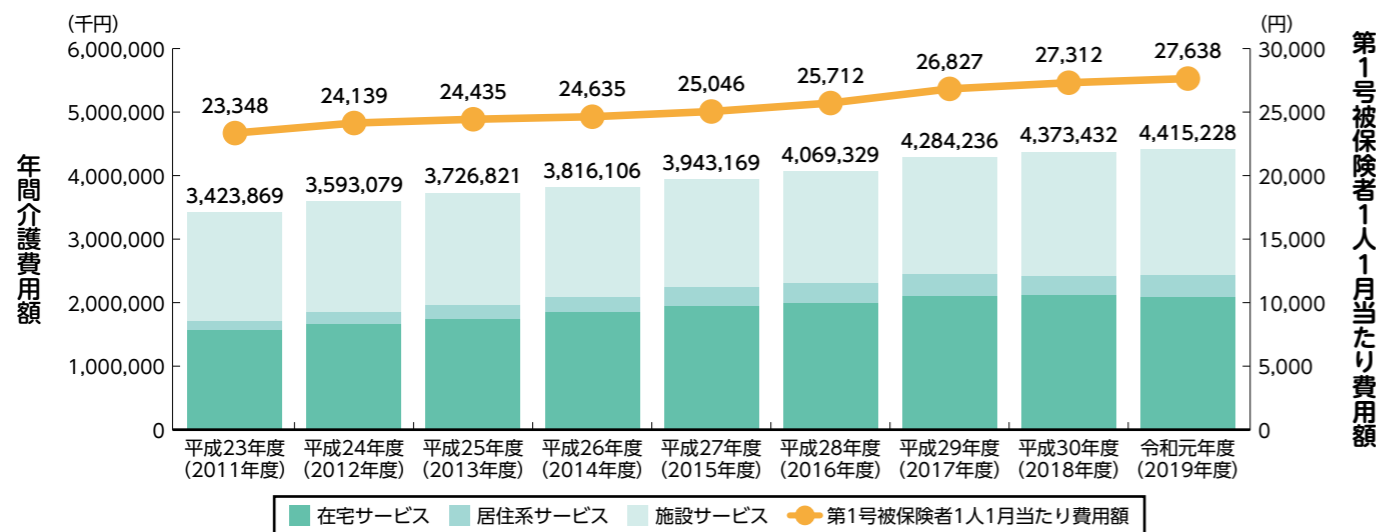
要支援・要介護認定者数の推計

要支援・要介護認定者数は増加傾向にあり、後期高齢者の人口の増加等に伴い、さらに増加するものと見込んでいます。



介護費用額の推移

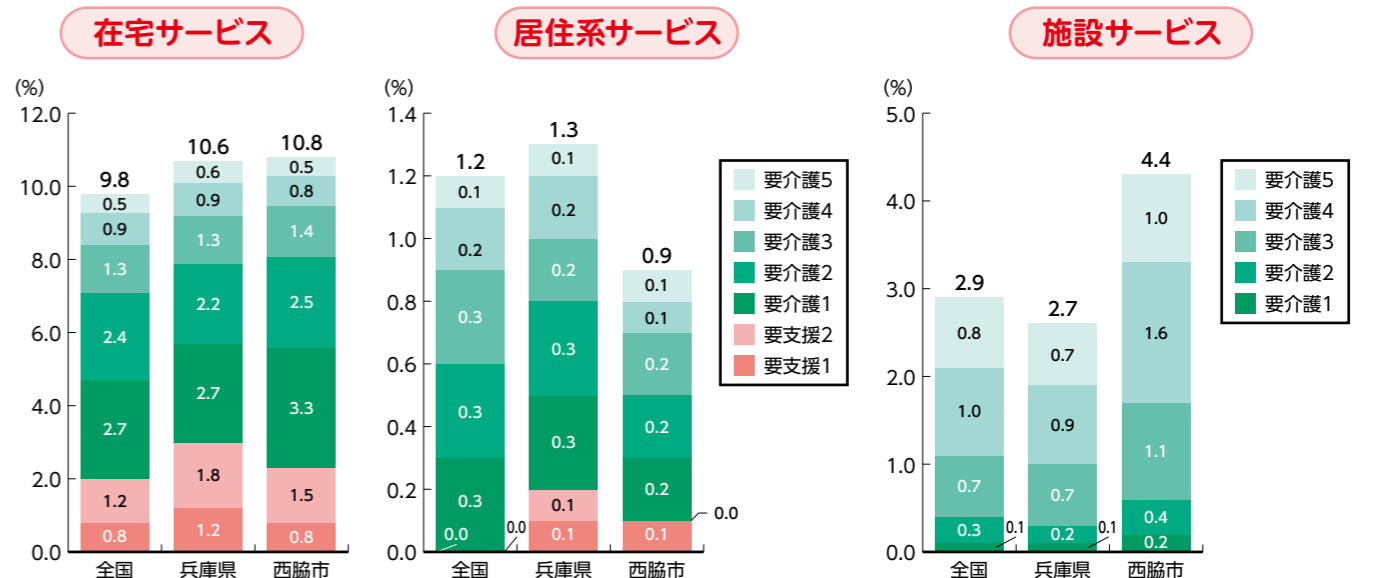
西脇市の介護費用額は年々増加し、第1号被保険者1人1月当たりの費用額も年々増加しています。



資料：地域包括ケア「見える化」システム (各年度末現在。令和元年度のみ令和2年2月サービス提供分まで)

介護サービス受給率

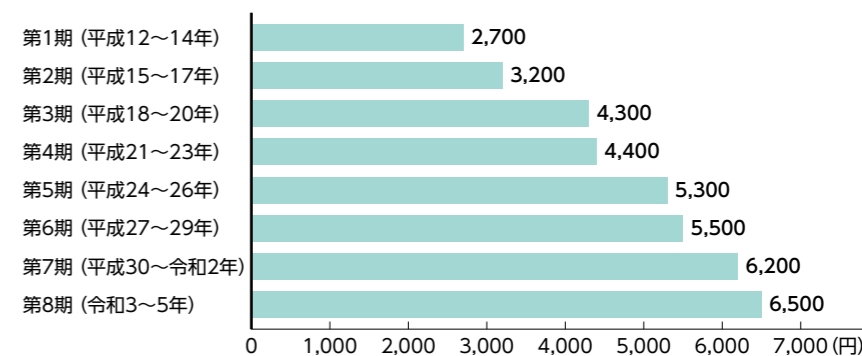
介護サービスの受給率をみると、在宅サービスの受給率は、全国及び兵庫県と比較して高く、なかでも要介護1が高い割合となっています。また、施設サービスの受給率も非常に高い状態にあり、介護度別では、特に要介護2～4で高い割合となっています。



資料：地域包括ケア「見える化」システム (令和2年3月)

介護保険料の推移

介護保険制度創設当初の保険料基準額(月額)は2,700円でしたが、令和3年度では6,500円となっています。



フレイルを予防しましょう

●フレイルとは？

病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の状態のことです。

しかし、フレイルであることを早めに気付いて、適正な対策をとれば、元の状態に戻ることもできます。

●フレイル予防

「健康長寿」を実現するために欠かせないフレイル予防・改善の主な柱となるのが、「活発な生活(社会参加)」「食生活(栄養)」「運動」の3つです。日常生活のなかで、この3つの柱はそれぞれが深く関係しているため、これらをバランスよく日常生活のなかに組み込んでいくようにしましょう。

介護給付適正化にご協力ください

介護保険制度は、介護を必要とする高齢者やその家族の方の負担を社会全体で支え、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、できるだけ自立した日常生活を送っていただけるためにつくられた制度です。制度を正しく理解し、適正な利用にご協力ください。